

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Four Skills Foundation II	（ TCH127 ）	
講義名（コード）	TCH_Four Skills Foundation II_A	（ TCH127A ）	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	英語ホスピタリティコース	単位数	4
授業担当者	柏戸 奈麻子、浅沼 渉	時間数	60
成績評価教員	柏戸 奈麻子、浅沼 渉	講義期間	秋学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	中学3年間で履修する英文法を口頭発話を介してCEFR A2～B1レベルの文法を完全マスターする。
全体の内容と概要	英語例文の文法構造を理解したうえで、日本語訳から脳内イメージを作り即座に英文を発話するトレーニングを、一人ひとり指名し反復練習する。学生による指名と発話あり。
授業時間外の学修	音声ファイルを聞きながら例文を暗唱できるよう練習する。
履修上の注意事項等	間違えを恐れず人前で英文を積極的に発話すること、自宅で暗唱する練習をすること、英文法を理解できていることが主な評価の項目になる。授業スケジュールと内容は、祝日や学校行事等との兼ね合いで調整される可能性がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	授業の進め方を理解する、英語の指示を理解する、英語の音に興味を持つ	授業内容の進め方の説明、復習、英語の発音 例文暗唱確認と評価。
2	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 2-7 1.従位接続詞②：副詞節を導く接続詞（時の副詞節を導く接続詞、理由・原因の副詞節を導く接続詞、条件の副詞節を導く接続詞） 例文暗唱確認と評価。
3	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 2-7 1.従位接続詞②：副詞節を導く接続詞（譲歩、目的） 2.前置詞がオプショナルなケース、要らないケース 例文暗唱確認と評価。
4	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 3-1 1. 現在完了形（「完了」、「継続」、「経験」の完了形、完了形の注意点） 例文暗唱確認と評価。
5	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 3-1 2. 従位接続詞③：関係代名詞の基本（関係代名詞について、関係詞の限定用法と非限定用法、who、which、that） 例文暗唱確認と評価。
6	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 3-2 1. 異なつた時制同士の比較と時制の注意点（単純現在と現在進行形、単純過去と現在完了形、単純過去と過去進行形、単純現在の注意点、現在進行形の注意点） 例文暗唱確認と評価。
7	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 3-2 2. 疑問文の注意点（「はい」と「いいえ」が英語ではNoとYesになるケース、平叙文でも疑問形になるケース、否定疑問文、付加疑問文のカジュアル表現、応答疑問文）、3. 疑問詞+不定詞（主語、目的語、補語） 例文暗唱確認と評価。
8	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 3-3 1. 代名詞の注意点（we, you, theyが「一般の人々」を表す、this, that, these, those の注意点、so, same, one の注意点、other, another の）注意点、some / any / every / no+body / one / thing） 例文暗唱確認と評価。
9	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 3-4 1. manyとmuch、2. fewとlittle（否定的意味で「ほとんどない」「少ししかない」、肯定的意味で「少しはある」、not a few / littleとquite a few, quite a little / bit）、3. someとany、4. veryとmuch 例文暗唱確認と評価。
10	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 3-4 5. [関係代名詞 + be動詞]の省略、6. [for～to不定詞]と[It is + 形容詞 + for/ of + 人 + to不定詞] 例文暗唱確認と評価。

11	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 3-5 1. その他の前置詞(above, against, around, as, behind, between, beyond, down, into, like, unlike, out, through, under) 例文暗唱確認と評価。
12	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 3-5 2. 他動詞とは捉え難い注意すべき語、3. 名詞節が前の名詞と同格のケース、4. “習慣”の used to と would 例文暗唱確認と評価。
13	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 3-6 1. to不定詞と原形不定詞の両方が可能な場合 (help と know, come と go), 2. make, have, get, letと感覚動詞を使つた第五文型 (S+V+O+C)のパターン 例文暗唱確認と評価。
14	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 3-6 3. 形容詞+不定詞、4. inとonなど (乗り物の乗降、inとonが「～で読む」ケース、die of と die from、made of と made from) 例文暗唱確認と評価。
15	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 4-0 《中学英語の総復習》 1. 文：主語と述語 (名詞、代名詞、形容詞、限定詞、副詞、動詞 (補語、目的語)) 生徒の様子により、Short Speech (30 sec.) 3 を実施 例文暗唱確認と評価。
16	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 4-0 《中学英語の総復習》 2. その他の文の要素 (1) 助動詞 (法助動詞 (句)、時制、完了形、進行形、受動態、命令形)、(2) 前置詞、(3) 準動詞 (分詞、不定詞、動名詞)、(4) 比較、(5) 疑問詞 (疑問代名詞、疑問形容詞、疑問副詞)、(6) 接続詞 (等位接続詞、従位接続詞)
17	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 4-1 1. 従位接続詞③：関係副詞 (関係副詞について、where, when, why, how, 関係副詞か関係代名詞か) 2. 従位接続詞③：関係形容詞 例文暗唱確認と評価。
18	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 4-1 3. 完了形と進行形のまとめ (動詞の四つのタイプ、未来完了形、過去完了形、未来進行形) 例文暗唱確認と評価。
19	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 4-2 1. 直接法と仮定法のある条件文 (直接法のある条件文、仮定法のある条件文) 2. 句動詞 (自動詞、他動詞、自動詞としての句動詞+前置詞) 例文暗唱確認と評価。
20	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 4-2 3. 倍数表現、4. その他の法助動詞 (dare, need, ought to) 例文暗唱確認と評価。
21	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 4-3 1. if以外の条件文 (unless, suppose, supposing, in case, even if, as if / though) 2. 副詞節を分詞を使って副詞句へ簡略化 (現在分詞を使うケース、過去分詞を使うケース) 例文暗唱確認と評価。

22	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 4-3 3. 分詞のまとめと分詞構文（分詞の副詞的用法） 1) 形容詞として 2) 名詞として 3) 動詞として 4) 副詞として（分詞構文） 例文暗唱確認と評価。
23	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 4-4 1. 複合関係詞: what, whoever, whichever, whatever, 複合関係形容詞としてのwhatever, whichever, 複合関係副詞としてのwherever, whenever, 譲歩のwh-ever 2. 不定詞の慣用表現: in order to と so as to, ~ enough to, too ~ to, 原形不定詞の慣用表現 例文暗唱確認と評価。
24	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 4-4 3. 動名詞の慣用表現、4. 冠詞の注意点のまとめ：不定冠詞a(n)、冠詞the 例文暗唱確認と評価。
25	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 4-5 1. 命令形の注意点（命令形 + and/or, letの注意点, letを使った慣用表現, 命令文のいろいろな社会的機能） 例文暗唱確認と評価。
26	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 4-5 2. 否定表現の注意点（気をつけるべき語(句) , 表現をソフトにするために否定文を使うケース, 否定の慣用表現, 否定文を使つての同意表現） 例文暗唱確認と評価。
27	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 4-6 1. 不定詞のその他の注意点：be + to不定詞, seem + to不定詞, 代不定詞, “目的”以外の不定詞, 副詞の独立語句として、 2. 中間の態（能動態でも受動態でもない）② 例文暗唱確認と評価。
28	左記文法を理解し、例文の暗唱ができる、単語を入れ替えて発話できる	Lesson 4-6 3. 感情の形容詞（-ing, -edタイプ）②、4. 前置詞的に用いられる句：owing to, because of, due to, in spite of, despite, instead of, except, except for, besides, according to, thanks to Short Speech (30 sec.) 4 例文暗唱確認と評価。
29	定期試験	後期学期末試験
30	試験のフィードバック	

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	プリント教材
参考文献・資料等	スピーキングのための英文法, 米原幸大 et al., 河合出版, 2018
備考	他に、やり直し英文法やスピーチ練習